第 4 回八代市住民自治推進検討委員会資料
平成 18 年 5 月 19 日（金）千丁公民館 13:30

中間報告（素案）の修正箇所

P	項　目	行	新	旧
	自治会活動に関するアンケート調査		（平成 18 年 3 月回答率 80%）	（平成 18 年 4 月回答率 80%）
6	５、自治会の課題	1	自治会の現行組織の維持に係る課題として、住民意識の多様化や連帯・自治意識の低下が言われている中で、役員のなり手不足や高齢化、参加者減、活動費不足が見られます。 また、比較的人口が集中する地域では、自治会加入率の低下傾向が見られます。 さらに新たな自治組織に求められる課題として、分権社会への対応や少子・高齢化問題、また大規模災害の発生時や広域化する事故・犯罪への対応などが考えられます。	自治会の現行組織の維持に係る課題として、住民意識の多様化や連帯・自治意識の低下の中で、平野部においては、自治会の加入率は、低下の傾向が見られます。また、役員のなり手不足や高齢化、参加者減、活動費不足が見られます。 さらに新たな自治組織に求められる課題として、分権社会への対応や少子・高齢化問題、また大規模災害の発生や事故・犯罪の増加等が考えられます。
7	６、自治会長と市政協力員制度		６、自治会長と市政協力員制度	６、市政協力員制度について
7	６、自治会長と市政協力員制度	1	住民意識の多様化や社会環境の変化等により、自治会の自主的な業務も多種多様化し、併せてさまざまな地域組織の役員も兼務	八代市は、住民の福祉を増進し、市政の円滑な運営を図る目的から、自治会の長を非常勤特別職として「市政協力員」の委嘱を行っ

P	項　目	行	新	旧
			しているため、自治会長は多忙な地域活動を行っています。 　一方、八代市では、住民の福祉を増進し、市政の円滑な運営を図る目的から、自治会の長を非常勤特別職として「市政協力員」の委嘱を行っています。市政協力員は、行政事務の補助的な業務をはじめ、広報紙の配布や環境美化活動に関する事務等を担い、住民と行政の重要なパイプ役として各種施策の協力など市政の円滑な運営に寄与しています。 今日の社会環境の変化や分権社会等を考えると地域住民の協力体制の強化を図るとともに、自治会長と市政協力員の役割を明確にしながら、今後求められる真のパートナーシップというものを考えていかなければなりません。	ている。市政協力員は、行政事務の補助的な業務をはじめ、広報紙の配布や環境美化活動に関する事務等を担い、住民と行政の重要なパイプ役として各種施策の協力など市政の円滑な運営に寄与しています。 　しかし、住民意識の多様化や社会環境の変化等により、自治会の自主的な業務も多種多様化し、併せてさまざまな地域組織の役員も兼務していることから、一人で多忙な地域活動を行っています。 今日の社会環境の変化や分権社会等を考えると地域住民の協力体制の強化や市政協力員と行政の役割分担を明確にして、真のパートナーシップというものを考えていかなければなりません。
7	■自治会長と市政協力員の相違点	下図	■自治会長と市政協力員の相違点	■市政協力員と自治会長の相違点
8	７、急がれる防災組織の確立	6	特に八代市には、「日奈久・布田川断層による地震」「大雨洪水による球磨川等の河川堤防の決壊」「高潮被害」「山間地における土砂災害」等が想定され	特に八代市には、「日奈久・布田川断層による地震」「大雨洪水による球磨川堤防の決壊、高潮被害」等が想定され